

2018年度日本建築学会大会（東北）

農村計画部門

パネルディスカッション資料

**農山漁村を動かす人々、
『〇〇ターン』と地域組織・地域再生のこれから**

2018年9月

日本建築学会
農村計画委員会

も く じ

主題解説	1
1. 地域を再生させるUターンネット	吉澤武志 3
2. 地域組織への多様な応援・支援	若菜千穂 11
3. 漁村の伝統的組織と新たな主体	
―尾鷲市における地域組織の関係性が創り出す新たな役割とその変遷―	下田元毅 21
4. 離島における新旧融合のコミュニティ	
―地域らしさを守るために地域を開く、石垣島白保集落を例として―	上村真仁 31
寄稿論文	41
5. 人口移動からみたUターンの地域特性に関する考察	吉田肇 43
6. 所有者不在空間（空き家、農地、墓）を活用した交流人口のネットワーク化	
	齋藤雪彦・成雨濛・李卓琳 45
7. 中山間地域における空き家と農地の管理	成雨濛・齋藤雪彦・李卓琳 47
8. 山村へ人々を向かわせる取り組みとその実践者たち	
―豊田市おいでん山村センターを核とした社会実験―	三橋伸夫 51
9. 都市と山村をつなぐ「おいでん・さんそんセンター」の取組	加藤栄司・鈴木辰吉 57
10. 瀬戸内海の離島における集落継承に向けた新たな枠組み	八木健太郎 61
11. 継続的な域学連携による実践的地域づくり支援	糸長浩司・藤沢直樹・浦上健司・關正貴 63
12. 邑南町における耕すシェフによる定住支援の試み	篠部裕 67
13. 「備後表継承会」と地域遺産	佐藤圭一 69
14. 原発避難市町村のまちづくり会社	川崎興太・佐藤輔 71
15. 関係人口の再考に関する一試論	野田満 75
16. 優良田園住宅づくり再考	柳田良造 79